

9月15日 紹介

朝ごはんをローン・チャイ(=チャイおじさん)、ローン・サムラン(=サムランおじさん)、ファイ・チャチャイ(=チャチャイリーダー)、パーマリさんと一緒にコミュニティセンターで食べた。パーマリさんはコミュニティセンターにご飯を提供するグループでご飯を作ったり洗い物をしている。ほとんど毎回ぼくらが食事するテーブルに来て「アロイ マイ?」=「おいしいね~?」と聞いてくれるので、ぼくらは「アロイ」「アロイ マクマーク」=「おいしいです」「とてもおいしいです」と答える。

タマサートの学生が模型作りの手直しをしている間にぶらぶらコミュニティセンターの周りを散歩した。学生の paul とともにローン・サムランに、池に浮く草について質問した。というか、僕が一度質問してサムランさんに答えてもらったのだが理解できなかったので paul を呼んだのだ。池に浮く草は、育ったら池から出して土壌に混ぜて、土壌を豊かにするために使われるそうだ。どんなメカニズムで土壌が豊かになるかはわからないが、目的はわかった。草の話の後もローンサムランは paul に向かって熱弁を続けていた。口調が激しいので怒っているのかと思ったが、農業への思いを語るゆえにそのように見えたのだと paul は言っていた。

その後タマサートのみんなと海へ行った。僕は泳ぎたかったのだが、波が荒すぎて泳げなかった。泳げないわけではないのだろうが、僕が今まで泳いできた沖縄の西海岸の海ほどおだやかではないので、泳いだ途端に波が来てのまれてしまい、泳ぐどころの話じゃないのだ。なので、泳ぐとかひたすら波に体をぶつけて久しぶりの海を感じることにした。沖縄の海とは違って波が茶色いのですこし抵抗を感じた。だが、砂浜にまで来た小さな波を見る限り汚いことはないし、沖の方は青々としている。おそらく汚くはないのだが波が荒いために濁っていて、砂の色も影響して茶色く濁って見えるのだろう。波に打たれ疲れてシャワーに行った。一回10パーツで、水道から水が出るだけの簡単な設備だった。その後ビーチの近くのレストランで昼ご飯を食べた。

バンジャムルンのコミュニティセンターに帰ってからはタマサートのみんなを見送った。みんな面白い人たちだった。いったん家に帰り、洗濯をした。そうこうするうちに、僕らの面倒をよくみてくれて、英語がよく喋れるブンさんが来て「ファーム」に行こうと言ったので行ってみた。「ファーム」と聞こえたので畑を見に行くのかと思いきや、着いてみるとバンジャムルンの住民会議だった。後になって気付いたのだが「ファーム」じゃなくて「ファーン」と言っていたのだ。「ファーン」という人の住む家の近くでこの住民会議があったので、「ファーン」と言ったのだろう。住民会議で、自己紹介を催促されたのでタイ語で自己紹介するとみんな拍手と笑顔で迎えてくれた。タマサートの学生によるレッスンのおかげである。終始よくわからなかったが住民のみんなは爆笑しながら話しあっていた。タイ語が出来たらなあと思った。くそう~。話し合いが終わると夕ご飯がでた。ご飯はチャーハンだった。そこで、このまえブンさんに食べたいものを聞かれたのを思い出した。

そのときに僕はトリノチャーハンが食べたいと答えた。おそらくこの夕ご飯に出すために聞いたのだ！ありがたやありがたや。さりげない心遣いとサプライズがうれしかった。チャーハン3杯を食べ終わるとアトイチャンというおばさんがお家を見せてくれると言うのでついていった。普段のアトイチャンは帽子にTシャツにエプロンという簡単な服装をしてコミュニティセンターで食事を作っているのですが、普通のおばちゃんの普通のお家と思っていたら、大きなテレビはあるし、ホームステイ用の部屋も2部屋あるし、それにエアコンも付いている！ぼくらのホームステイ先にはエアコンは付いていなかったのが驚きだった。ガラス棚には船のミニチュアなどのコレクションがあり、リッチなことがうかがえた。アトイチャンにホームステイ先まで送ってもらった。

家に帰ってから洗濯機のレクチャーを受け、欲しいものは無いかとブンさんに聞かれたのでタオルが欲しいと言うと、ちょうどショッピングモールに行くから行くぞ！ということになった。タオルを買うこともでき家に帰ると、今までステイしていたブンさんの家の離れから、すぐそばにあるブンさんの実家に移動したほうがよいと言われたので移動した。アリが大量発生していたからだ。二日で散らかした荷物をまとめ直して移動した。その後コミュニティセンターに行きメールなどのチェックをした。

↓海にて。→住民会議にて。

